

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 3 月 26 日 (2009.3.26)

【公開番号】特開 2007-223936 (P2007-223936A)

【公開日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2007-034

【出願番号】特願 2006-45865 (P2006-45865)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 K 8/39 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/19

A 6 1 K 8/39

A 6 1 Q 19/10

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 10 日 (2009.2.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 炭酸ガス発生物を含有する入浴剤であって、(B) 油性成分及び (F) 香料のいずれか一方又は両方がそれぞれ粒子化されており、当該粒子中又は入浴剤中に (C) ポリオキシアルキレン (アルキレンの炭素数 2 ~ 3、オキシアルキレンの繰り返し数 7 ~ 14) アルキル又はアルケニルエーテル (アルキル又はアルケニルの炭素数 14 ~ 20) を含有する入浴剤。

【請求項 2】

次の成分 (A)、(B)、(G) 及び (D) :

(A) 炭酸ガス発生物、

(B) 油性成分、

(G) ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤、

(D) 常温で固体又はペースト状の水溶性高分子、前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテル及び香料を含有する粒子を含有する請求項 1 記載の入浴剤。

【請求項 3】

次の成分 (A)、(E)、(F) 及び (C) :

(A) 炭酸ガス発生物、

(E) 油性成分、ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤及び賦形剤を含有する粒子、

(F) 香料、

(C) 前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテルを含有する請求項 1 記載の入浴剤。

【請求項 4】

次の成分 (A)、(D) 及び (E) :

(A) 炭酸ガス発生物、

(D) 常温で固体又はペースト状の水溶性高分子、前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテル及び香料を含有する粒子、

(E) 油性成分、ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤及び賦形剤を含有する粒子を含有する請求項 1 記載の入浴剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、本発明入浴剤には、前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテル以外の非イオン界面活性剤を含有していてもよく、前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテルを含有しない部分には、(G) ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤（前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテルを包含する）、ソルビタン脂肪酸エステル、グリセリン脂肪酸エステルを含有することができる。ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤のポリオキシアルキレン鎖は、ポリオキシエチレン鎖、ポリオキシプロピレン鎖、あるいはオキシエチレン基とオキシプロピレン基が混合したポリオキシアルキレン鎖でもよく、その場合オキシエチレン基とオキシプロピレン基はランダムでもブロックでもかまわない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

(1) 次の成分 (A)、(B)、(G) 及び (D)：

(A) 炭酸ガス発生物、

(B) 油性成分、

(G) ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤、

(D) 常温で固定又はペースト状の水溶性高分子、前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテル、及び香料を含有する粒子を含有する入浴剤。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

(2) 次の成分 (A)、(E)、(F) 及び (C)：

(A) 炭酸ガス発生物、

(E) 油性成分、ポリオキシアルキレン系非イオン界面活性剤及び賦形剤を含有する粒子、

(F) 香料、

(C) 前記ポリオキシアルキレンアルキル又はアルケニルエーテルを含有する入浴剤。